



松崎さち NEWS



あなたの地区の
共産党市議会議員

松崎さち
です(^^) /

事務所 〒273-0021 船橋市海神 6-17-31
市役所控室 ☎ 047-436-3030
(平日9時半～17時)
携帯 ☎ 090-6156-8592
メール sachimatsuzaki020@gmail.com

注目

市議会

プラスチックごみ 分別・資源化で



日本共産党の松崎さち市議は昨年12月2日、船橋市議会の本会議で、市が可燃ごみとして収集するプラスチックごみの分別・資源化を求めました。市は検討したいと答えたものの、具体化はありません。

環境省によると2020年度、プラスチック製容器包装の分別回収を行っている地方自治体は1318市町村。全体の75.7%です(白色トレイのみ分別の153自治体を含む)。船橋市と同じ中核市でも、62市中48市が実施しています。

船橋市は北部・南部清掃工場で行っている廃棄物発電の余剰電力を公共施設に送電(自己託送)することで、年間6700トン



の二酸化炭素が削減できるとしています。しかし市の試算によると、同清掃工場で燃やしたプラスチックごみにより、年間10万6396トンもの二酸化炭素が排出されま

した(2019年度)。松崎市議は「この重大性をどう考えるか」と市の認識を質しました。環境部長は「自己託送は拡大する。約1万3千トン削減できる」と述べながら「確かに発電するからいいということではない。国や製造者の技術など、様子を見て分別を検討したい」と答えました。具体化が急がれます。

生ごみ処理機 購入助成が復活

松崎市議はこの日、公的施設の生ごみ堆肥化、生ごみ処理機の助成復活も求めました。市は3月議会で生ごみ処理機購入費の1万円助成を提案。議決は3月24日です。

市議会

生活保護利用者支援のケースワーカー 増員を

松崎市議は12月議会で、生活保護を担当する生活支援課ケースワーカーの増員を求めました。発達障害など何らかの理由で家計管理が苦手な人に対し、市は「高齢者等権利擁護センター『はれつと』の金銭管理サービスや成年後見人申立て、家計改善プログラムで支援」しています。しかし昨年、月初めにお金が尽き、金曜夜の時点で非常用ご飯パック4つのみという

保護利用者に対し、市は「今ある分でトライして」と食料支援を拒否。休庁日の土日を前に、冷たい対応です。松崎市議は、ケースワーカーの担当世帯数は国基準で一人当たり80世帯のところ、船橋市は92.4世帯にもものぼる実態を示し、「日本弁護士連合会が求める『一人当たり60世帯』をめざすべき」と訴えました。市は必要な人数は配置していると強弁しましたが、一刻も早く増員すべきです。

不登校の子どもが利用できる 適応指導教室 名称変更へ

船橋市は2月22日、市議会本会議で市民民主連合の議員の質問に答え、不登校の児童生徒が通っている「適応指導教室『ひまわり』」について、名称変更の準備をしていると表明しました。松崎市議は昨年12月2日、同じく市議会本会議で名称変更を求めています。

不登校の子どもの保護者からは「適応指導教室」という名前を変えて欲しいと要望が上

がっています。松崎市議は本会議で、「行くべき学校に行けないことで子どもは自己否定の感情を深めていく。機械的に学校復帰を求め、適応を促せば子どもを追い詰める」と主張。併せて適応指導教室の要綱にある「学校復帰」という設置目的も変更するよう求めました。市は要綱の文言については以前から変更を考えていたとして、4月から「社会復帰」に変える検討を進めています。

地域

下総中山駅南口バリアフリー化を 署名 717 筆

▶船橋市の道路部長に署名を渡す参加者 2月2日、市役所



日本共産党の松崎さち市議は2月2日、「JR下総中山駅南口のバリアフリー化早期実現をめざす会（以下、めざす会）」とともに、船橋市に署名717筆を提出し、市と懇談しました。丸山慎一・党前県議も参加しました。JR総武線の下総中山駅

は南口に6段の階段があり、エレベーターやエスカレーターなどがなく、車椅子やベビーカー利用者、高齢者らが苦勞を強いられています。「めざす会」は昨年11月から5回の駅頭宣伝を行い、署名への協力を訴え、1時間の宣伝で平均66筆の署名が寄せられるなど、共感が広がりました。地元の福祉施設や一部の自治会なども署名に協力してくれました。2日、署名を受け取った市の道路部長は感謝を述べ、「バリアフリー化は必要だ。JRに動いてもらう方向で協議をしている」「市川市とも協議する」と話しました。「めざす会」は今後、南北の出入り口での利用者数調査、国への要望活動などに取組もうと相談しています。



署名に応じる人と「めざす会」= 1月15日、下総中山駅前

(写真右) 船橋市の公園緑地課との懇談=1月12日、市役所

(写真下) 遊歩道沿いにある休憩所=2021年4月30日、松崎撮影



松崎さち市議は1月12日、日本共産党本町後援会と一緒に、長津川親水公園（旭町6丁目4）の遊歩道沿いにある休憩所の改修を、船橋市に求めました。丸山慎一・党前県議も参加しました。3つの休憩所のうち北側の1ヶ所は全面改修されましたが、南の2ヶ所は未改修です。改修のためには千葉県による土台の修繕が必要ですが、県は様々な意見があるとして行っていない。市は「以前から修繕を要望している」と言います。丸山前県議は「市として展望台なりとしてほしい」と、県に強く要望してほしい」と訴えました。

地域

長津川親水公園の休憩所 全面改修を船橋市に要望

子育て対策は教育費の軽減で

「異次元の少子化対策なんていない。普通の政策をやってほしい」—3人の子どもを育てる女性が不満を訴えました。世界一高い学費、給食や教材費など、「子育て罰」とも呼ばれる教育費の軽減は待たなしの政治課題です。政府は子ども予算を倍増すると言いましたが中身は見えず、「子どもが増えれば倍増できる」という官房副長官の発言に「何もしない宣言か」と怒りが広がるのは当然です。教育の無償化、親の低賃金を解消する最賃1500円の実現・中小企業支援の抜本的強化、大企業の内部留保への時限的課税を。軍事費倍増だけは即決する政治を変える希望は、私たち一人ひとりの声です。ともにがんばります。

ご意見、ご要望、生活相談など お気軽にお寄せください

公園出入り口付近 トイレ洋式化が実現

船橋市は新年度予算案で、長津川緑地南側のトイレ洋式化の予算を計上しました。松崎市議は昨年3月の予算決算委員会で、トイレ改修を求めていました。

ボランティア お願いします

宣伝カーのアナウンサー・ドライバー、ビラ配り、ポスター掲示など、お力をお貸しください。お問合せは、1面右上の連絡先または左のQRコードからお気軽に☺